

もったいないから  
つなげようプロジェクト

小学校から高校生まで、子どもが学校時代に揃えなければいけない道具は使う時期が限られていきます。もったいない！お母さんたちの声から、スタートしたプロジェクトです。まだまだ使える品物をお預かりして、プレゼントとして必要な方にお届けします。  
※4月22日のアースデイがごしま、環境未来館のエコフリマに参加。

●集める品物  
まだまだ使える…制服(標準服)、体操服(ジャージ)、ランドセル、算数セット、書道・絵画セット、ソプラノ・アルト笛、鍵盤ハーモニカ等

炊き出しのお米のご寄付  
をお願いしています  
ホームレス生活を送っている方がたへ毎週一升のお米で握る大きなおにぎりの炊き出しは今年で13年目になります。これからも支援を継続するためにお米のご寄付をお願いしています。  
またおにぎりを握っていただけたサポーターの方も募集しています。ご協力をよろしくお願ひ致します。

鹿児島県つながる相談会

●主催/NPO法人がごしまホームレス生活者支援会(のぐちは理事をつとめています)  
●対象者/どなたでも相談できます。高齢者、障がい者、身寄りがいない方、社会的に孤立した方、生活に困窮した方などなたでもご相談ください。困難な事案を抱えた方、支援者からの相談、本人以外からの相談も受け付けています。  
●開催日程/毎月第3土曜日13時  
●相談会場/鹿児島市山下町16-3有密ビル2階グリーンコープ生活再生相談室

●お問い合わせ先  
099-296-1253  
(しばた司法書士事務所)

子どものみなさんへ

鹿児島も世界も暮らしやすい  
未来を実現するために

世界を持続可能にするための国連の17の目標から、鹿児島市でも大切な12の目標をご紹介します

- ◆貧困をなくそう
- ◆すべての人に健康と福祉を
- ◆質の高い教育をみんなに
- ◆ジェンダー平等を実現しよう
- ◆エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- ◆働きがいも経済成長も
- ◆住み続けられるまちづくりを
- ◆気候変動に具体的な対策を
- ◆海の豊かさを守ろう
- ◆陸の豊かさを守ろう
- ◆平和と公正をすべての人に

国連は2030年を達成目標年として持続可能な世界を実現するための17の課題を掲げています。持続可能な暮らしのためには、何よりも戦乱のない平和な日常を続けられるように不断の努力が求められます。

今年の1月にハワイで北朝鮮からのミサイルが着弾するとの誤報が流され、ハワイの人びとを恐怖のどん底に陥れました。この出来事をうけてハワイ選出の上院議員はアメリカ政府に対して、「今すぐ前提条件なしに北朝鮮との交渉を開始して、ミサイルがハワイに飛んで来ないようにしてほしい」と要求しました。かつてナチスドイツの高官が、このよう

に発言したそうです。「国民を戦争に巻き込むのは簡単だ。他国が攻めてくると言えはいい」

このところ日本でもかつてなく安全保障に対する危機感が広がっています。しかし、何が現実的な危機なのか冷静に判断しなければなりません。私たち自身が軍事的な対立を何としても解消しなければならぬ、という気持ちで状況や情報を読み解くことが大切です。

子どもたちの未来のために正しい選択を

私の祖父と両親は戦中戦後を生きた世代です。子どものころから色々な話を聞かされ、また教科書以外の歴史も学んで育ちました。そうして辿り着いたのは「限りある命や自然の資源、みんなが出し合う大切な税金は人の命を奪うために費やしてはならない」と言うシンプルなものです。

いきなり戦争は始まるものではありません。勝手に誰かが一人を始められるものでもありません。私たちが暮らしていくのは人口減の少子高齢化の社会です。最優先は主権者である私たちの日々の暮らしの安全と安心です。そしてそれは近隣の国々も同じです。自分の国や利益さえよければ他の人や国のことはどうなっても構わない、そんな価値観ではグローバル化の現代で存続はできません。今を生きる大人の私たちが、子どもたちの未来のために正しい選択をしていきたいものです。

住み続けられるまちづくりを

人口減少が進んでいる鹿児島市。税収が減ることは明らかで、そのまま福祉や公共サービスを全て縮小する住みにくいまちになってしまいます。「地域社会をうまく縮めるための成長プラン」が不可欠です。市のみならず国・県の予算の使い方も私たち一人一人が当事者として、納税者として考えてより良い使い方を提案する必要があります。

おまかせ民主主義で政治を白紙委任して、後から不満をぶつけているようでは持続可能な鹿児島市を実現できません。平和で安全な社会基盤を下地に、自分と考えが全く違う人もお互いを尊重する多様性を大事に、今年もまちづくりを進めます。

みんなが納得のできる税制と現役世代にも手厚い再分配の実現

「パラダイス文書」が世界的な調査報道のネットワークから公表されました。また、世界的に有名な多国籍企業が複数の国の税制を使って徹底した節税をしていることも広く知られます。例えばグーグルが最近の一年間だけで2兆円を節税したことは広く報道されました。

日本は成熟した資本主義の民主法治国のはずですが、格差の拡大や貧困の連鎖と固定化傾向を政治がなかなか止められません。止められないばかりか、予防策すら不十分なままに時間だけが過ぎていきます。

今日でもなお、高度経済成長時代の思考や論法、あるいはバブルの再来を待ち望むご意見がありますが、市政の舵取り

『のぐち英一郎とかたろかい』

- 4月14日(土) 坂元小学校校区公民館 / 1階和室(椅子あり) / 13時半~15時 鹿児島市坂元小学校内
- 4月21日(土) センター(よかセンター) キャンセ7階第2和室(椅子あり) / 13時半~15時 / 鹿児島市中央町10
- 5月26日(土) 鹿児島市電 一電車でGO- / 14時~16時 / 鹿児島中央駅発着
- 6月24日(日) 西郷南洲顕彰館 別館展示学習室 / 鹿児島市上尾尾町2-1 / 13時半~15時
- 9月29日(土) TELLA CAFÉ / 鹿児島市石谷町 2413-11 / 13時半~15時

要予約

連絡先 080-4314-1121

市民ネット のぐち英一郎

〒892-8677 鹿児島市山下町11-1 鹿児島市議会内  
TEL 080-4314-1121  
eiichiro@entaku.info  
http://entaku.info/  
@entaku40  
「ほぼ日刊」鹿児島市議 のぐち英一郎  
19年目メルマガ好評配信

ユネスコSDGs 検索

ほぼ年刊!

のぐち英一郎  
ニュース

NOGUCHI EIICHIRO NEWS

2018年号

鹿児島市議会議員  
無所属・市民ネット  
のぐち英一郎  
市政報告ニュース  
2018年号



世界を持続可能にするための国連の17の目標から  
鹿児島市でも大切な12の目標

1 貧困をなくそう	2 すべての人に健康と福祉を	3 質の高い教育をみんなに	4 ジェンダー平等を実現しよう
5 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	6 働きがいも経済成長も	7 住み続けられるまちづくりを	8 つくる責任つかう責任
9 気候変動に具体的な対策を	10 海の豊かさを守ろう	11 陸の豊かさを守ろう	12 平和と公正をすべての人に

皆さまお元気にお過ごしですか鹿児島市議会議員 のぐち英一郎です。大河ドラマ館にはお出掛け頂けましたか?

今日の私たちは、温暖化や寒冷化など、気候変動が暮らしに大きく影響する状況で生きていかなければなりません。健康管理の分野では近年、ヒートショックへの備え(家の中の気温差を5度以下におさえる・入浴前後に水分補給等)の大切さが報道されています。健康長寿を実現するキーワードとして「予防」と「断熱」の二つが私は大事だと思っています。(詳しくは3Pへ)

五期目三年目もつなぐ現場主義で動きます。いつでも声をかけたい!



のぐち英一郎



# 平成30年度はこのような政策を提案しています。

ご意見ご相談お寄せください

## ICカード導入等、 末長く続く 観光鹿児島への投資を

今年、明治維新から150年です。大河ドラマ「徳川家康」を皮切りに2020年秋の国体と全国障害者スポーツ大会まで、国内外からたくさんの方に鹿児島に来ていただき、ゆったりと充実した滞在を楽しんで「また鹿児島に来たいなあ」と心から実感いただけたら、嬉しいですね。市が市の大切な役割だと考えます。

鹿児島市を訪れる方は何を求めていらっしゃるのでしょうか？何が鹿児島には足りないと感じますか？

ここにしかないモノや体験、景観、時間。全国的に使われている交通系のICカードを鹿児島市でも使用可能に整備することを始めるとして便利でわかりやすい移動方法の案内と手段適な滞在環境とおもてなしの心配り。少し考えるだけでも課題があると感じます。

この土台を丁寧かつスピーディに整えれば、必ず地域経済に元気が出る契機となるはずだと思います。

ブームや一過性ごまりで終わらない稼げる観光鹿児島を実現するため取り組みましよう。

## 実現しました！

### 「子ども食堂の主権が加入する 行事用保険の助成スタート」



鹿児島市にもボランティアによるたくさんの子ども食堂が活動しています。温かい善意をサポートして末長い活動を応援して行きたいですね。

### ごみ有料化?! 資源化モデル事業の スタートが実現

鹿児島市のごみ収集が有料になるかもしれない。鹿児島市のごみ状況をご存知ですか？

1月に開催された審議会では「今年9月末までに一人あたりの削減目標100グラムのめどが立たなければ、有料化が時間の問題」という旨のやり取りがなされました。私は約20年、町内会で衛生係（ごみに関する係）を務めています。その中の気づきより、毎年大量に出る落ち葉や剪定枝の資源化を個人質問で提案してきました。

しかし、そこには一切手つかずの状況でした。仮にそうした植物系のごみを燃やさず



我が家ではコンポストも活用

に資源化したら一人あたりの100グラムの目標に対し、なんと73グラムも削減できるので

そして遂に今年度、草木類のごみを減らす資源化モデル事業のスタートが実現しました。剪定した枝の粉砕機（軽トラに詰めるサイズ、重量は25キロ）の貸し出しも始まります。これらの実現と生ごみの脱水をみんで毎日やれば有料化になることはないでしょう。皆さんの賛否やご意見をお聞かせください。

### 「SOS」の 出し方を学ぼう 子どもたちに 義務教育で伝えよう

今期5期目の場を頂いてからは、身寄りのないご年配の方や就職氷河期同世代（子育てや一人暮らし両方）の困窮、メンタルヘルスでの苦境など、短い期間での解決が困難なご相談を市内全域からたくさん伺っています。

ご相談を伺い「もう少し早く誰かに相談すれば、ここまで苦しまずにすんだかもしれない」というケースがとて多く感じます。

今夏、鹿児島県によって、長年私が求めていた鹿児島市のごども（がいの世帯）の生活実態のアンケート調査（市立小学5年生と中学2年生全世帯対象）が行われ結果が公表されました。その結果、本市のごどもたちの貧困率は14.6パーセント。つまり7人に一人のごどもたちが困窮状態にある。という実態が明らかになりました。

またアンケートの回答に「困った時の相談方法がわからない」という声も聞かれました。



「相談相手がない」というものがありました。主権者教育を義務教育レベルで取り組む必要性についてかねてから鹿児島市に要望しています。ごどもの頃から「自分が生きていて困った時にどのように相談をすればいいものか」小中学で知る機会が提供される必要があります。

日本には生活保護というセイフティネットがありますが、長年にわたり必要な方が必要な時に使えないまま年数が経過してきます。私は「困った時はお互い様・明日は我が身」を原則に、公共サービスや福祉の仕組みをちゃんと使える社会の実現をめざします。今の国政で弱い立場をさらに追い込む切り下げの流れがあったとしても、鹿児島市では政治による底上げで生きていけるようなまちづくりで22世紀を展望したいと思っています。

## キーワードは健康長寿！ 今年「断熱」で毎日元気に

健康に暮らし続けることができる地域づくりのために、バリアフリーの街並み整備に加えてベンチや健康遊具の設置を積極的に進めてきました。これらは主に、日常的に歩きまわる範囲や外出の利便性の着眼でした。

今年も1、2月の寒さを思い出しながら、住宅の断熱化による健康維持と病気の予防による医療費の抑制を強く進めていきます。

みなさんは「ヒートショック」をご存知ですか。急激な温度変化により血圧が大きく変動することにより心筋梗塞や脳卒中を引き起こす現象です。入浴中に起きると溺れてしまうことも。2011年には約1万7千人が入浴中にヒートショック関連で死亡、その約8割が65歳以上と



この対策が断熱です。家の中の温度を一定に近づけヒートショックを防ぎます。熱の出入りは窓が一番多く、断熱効果の高いサッシの交換など効果的です。

子育て・高齢者世帯を対象の鹿児島市のリフォーム事業「安心住宅ストック支援事業」(20万円を上限、補助率20パーセント)も積極的にご利用下さい。

お問い合わせは  
099(2116) 1357  
建築指導課まで。

税金によるコネ人事が鹿児島市では数十年続いてきました。内部告発(公益通報)と念入りの調査を元に、私の個人質問で「全面公募」の大転換を果たしたのもつかの間。年頭から何やら微妙な案件が2件相次ぎ、本会議で質しました。

## 税金によるコネ人事 その後

特に一件は「科学専門で大学院修士以上の学歴」と博物館や科学館などで特定の職務経験が3年以上を若干名」というもの。その実応募は2名。市民の方々から「出来レースではないのか？」と厳しい指摘を頂きました。

一度勝ち取った市民の権利「税金コネ人事にNO!あくまで全面公募」です。今後大事に見守っていきたいと思います。

## まだまだ取り組み続けたいこと！

- 地産地消の取り組み推進。鹿児島の食べ物や鹿児島産の店で購入。利益は地域の中で循環させる仕組みに。
- 再生可能エネルギーで経済が動く仕組みづくり
- 歴史と伝統のある遺産、自然環境や景観を保全し未来へ大切に伝え残す
- 給食の段階的無償化
- 子育てと介護のダブルケア支援
- 公的料金滞納はSOSのサイン。きめ細やかで温かい支援を！
- 在宅医療の整備
- 原発事故に備えヨウ素剤配布を
- 新しい箱モノを建てるなら、既存との集約化や災害時の拠点化・パリ協定に基づくゼロエネルギー基準を前提。原発事故対策を想定することも不可欠
- 公共交通がなく買い物や移動の不便を解消。移動販売も活用。
- 歩いて暮らせる地域社会には健康遊具を完備した公園を。学校プールなど施設の有効活用。
- バス停を始めまちのあちこちにベンチを設置しよう
- 保育・介護現場の大幅な待遇改善。



軸振興のため本会議にて着用

